

【検討経緯】

中部湖東幹線道路

牧町周辺への建設推進に向けた検討

《 アプローチ 》

- ❖ 地域住民の安心・安全と利便性を確保
 - ❖ 道路利用者が気持ちよく・楽しく・快適である事
 - ❖ 近江八幡市が有する地域資源の有効活用と活性化
- 「三方よし」の精神で将来へ繋げる道路づくりを実現

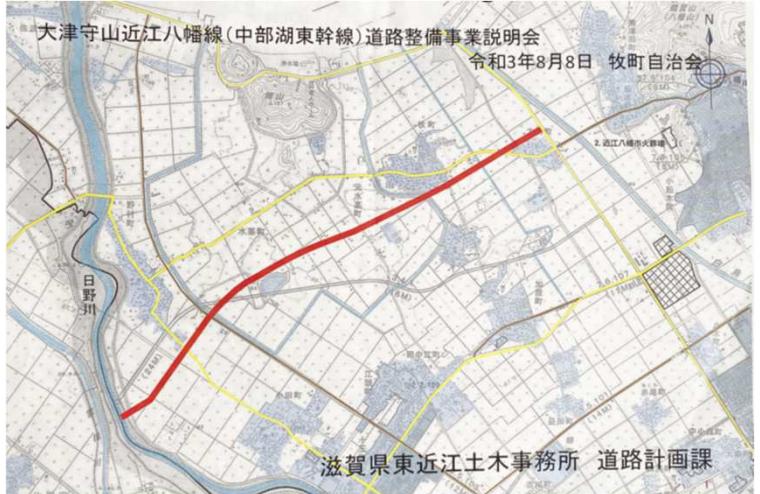
令和7年11月7日

牧町自治会
中部湖東幹線建設促進協議会

中部湖東幹線道路整備【R4年までの経緯】

➤ 令和元年 牧町公民館における説明会 → ルート案の提示

- ✓ 幹線道路として適した道路構造
 - ・なめらかな線形
 - ・大津湖南幹線からの連続性
 - ・牧町バイパスとしての機能
- ✓ コントロールポイントへの影響
 - ・墓地・処分場・鎮守の社等
 - ・旧道との交差方式
 - ・農耕車の横断
- ✓ 地域分断など土地利用に配慮した経済的なルート選定
 - ・集落の分断や田の斜め横断
- ✓ 自然環境への影響に配慮

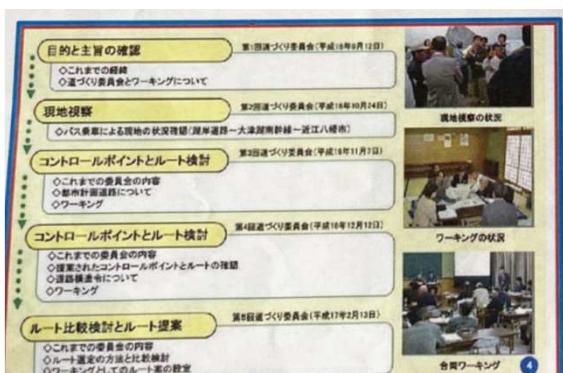


ルート3案※から比較検討が行われ、牧町の南側を通り大房の北側県道26号線に接続されるルート案が示されました

※ 中部湖東幹線道路整備計画検討協議会近江八幡部会において牧バイパスルート3案



➤ ルート案に対する現地測量が実施されましたが、道路形態や交差点形状・農耕車両の通行など、道路の予備設計段階で県と牧町との意見がまとまらず……



道路の規格・交通量・バイパス効果などルートの妥当性説明を要求し…

町民に対するR3年8月8日説明会以降、保留中

【 牧町における新たな取り組み 】

- 令和6年度の自治会長引継ぎにおいて中部湖東幹線の建設に関する課題を共有し、対応策を検討
 - ✓ 牧町自治会における重要審議案件として検討を進める
 - ✓ 牧町自治会として過去の検討経緯を再確認
 - ✓ 機能不全を起こしていた「牧町バイパス設置委員会」を発展的解消
- 令和7年2月自治会内に「中部湖東幹線建設促進協議会」を発足
 - ✓ **目的**：県道26号線の在り方と地域内の産業、経済の活性化に寄与できる中部湖東幹線道路の早期整備を促進する
 - ✓ **対応**：牧町市民の安全・安心に寄与できる道路環境の実現に向けた検討を進める

過去の経緯に拘らず、中部湖東幹線道路を牧町の発展に繋げる

協議会委員		備考
会長	中田 幸雄	R6・R7年度自治会役員
副会長	堀尾 定利	第7組代表、R6・R7年度自治会役員
副会長（会計）	木下 洋	第8組代表
事務局長	西 信弘	第6組代表
事務局	浜田 由治	R6年度自治会役員
事務局	前田 安彦	R7年度自治会役員
委員	東 節夫	第1組代表
委員	稻葉 光紀	第2組代表
委員	東 角男	第3組代表
委員	堀尾 政夫	第4組代表
委員	堀尾 信一	第5組代表
委員	西井 宏典	第9組代表
委員	濱田 治孝	第10組代表
委員	北野 宗雄	第11組代表

【幹線道路に関するアンケート調査】

➤ 牧町を縦断する県道26号線に関する諸問題の確認・検証

- ✓ **目的**：牧町を取り巻く道路環境に関する意識調査
- ✓ **対象**：牧町自治会の18歳以上の正会員・準会員（527名）
- ✓ **期間**：令和7年3月15日～3月23日
※ 正会員：世帯主、準会員：ご家族
- ✓ **主な質問事項**：
 - ・ 牧町民の属性（年齢・性別・居住地域）
 - ・ 町内・町外への移動手段及び、牧町を取り巻く道路事情
 - ・ 県道2号線（十王町～加茂町）を例示し牧町バイパスの必要性

【 牧町周辺の道路事情に関するアンケート 】

各質問の選択肢の「□」に対し「✓」を入れてください。(注釈箇所以外は1ヶ所に！)

質問1. あなたの年齢は？
□ 10代 □ 20代 □ 30代 □ 40代 □ 50代 □ 60代 □ 70歳以上

質問2. あなたの性別は？
□ 男性 □ 女性 □ その他

質問3. 以下の地図をご覗きいただき、あなたはどの地域に住んでおられますか？
※ 車で移動する際、県道26号線に出るしか抜け路がない場合「県道26号線に隣接」を選択。
□ 県道26号線の北側 □ 県道26号線に隣接 □ 県道26号線の南側

質問4. あなたの町内での主な移動手段は何ですか？
□ 徒歩 □ 自転車 □ バイク（原付含む） □ 車 □ その他

質問5. あなたの町外への主な移動手段は何ですか？
□ 徒歩 □ 自転車 □ バイク（原付含む） □ 車 □ 公共交通機関 □ その他

質問6. あなたは、牧町をとりまく道路（県道及び市・町道）に満足されていますか？
□ はい □ いいえ

質問7. 質問6で「いいえ」と答えた方 → 不満な点は？（選択は a. b. c. 各1箇所）

a. 県道26号線 → □ 行歩者の安全性 □ 交通量 □ 道幅が狭い
□ 歩道が無い □ 大型車両の通行 □ 対面通行ができない
□ 通行車両の速度が速い □ 通行車両の振動 □ その他

b. 市・町道 → □ 道幅が狭い □ 排水路（深い）がある □ 電柱が多い
(町内の道) □ 県道の迂回車両が多い □ 路上駐車がある
□ 県道の横断歩道が危ない □ その他

c. 県・市・町道 → □ 道路の騒音 □ 道路の安全策 □ 開岸道路の抜け道（全般） □ その他

裏ページへ続く

質問8. あなたは過去に町内を移動中に「ヒヤッ！」としたことがありますか？
□ はい □ いいえ
↓ 「はい」と答えた方に伺います。

質問9-1. その時の移動手段は？
□ 徒歩 □ 自転車 □ バイク（原付含む） □ 車 □ その他
※ よろしければ状況を（ ）

質問9. あなたは牧町から（出る際）、県道26号線の渋滞（堵慢や交通集中）により影響を受けたことがありますか？
□ はい □ いいえ
↓ 「はい」と答えた方に伺います。

質問9-2. 県道26号線の渋滞による影響（遅延）はどの程度でしたか？
□ 30分以内 □ 30分～60分 □ 60分以上 □ 覚えていない

質問9-3. 渋滞の際、他の抜け道を通ることを考えましたか？
□ はい □ いいえ
↓ 「はい」と答えた方に伺います。

質問10. 県道2号線は十王町～加茂町の間、旧道に対し並行にバイパス化されました。

バイパス周辺は交通量が多く、住宅やスーパーなども増え、賑わいがあります。
旧県道（朝鮮人街道）は、車や人の往来が減り、この地域の生活道路となっています。
この状況を見て、牧町を通る県道26号線のバイパス道路の建設は必要ですか？
□ 必要 □ どちらと言えば必要 □ 不要

質問11. 最後にお伺いします。
滋賀県道路整備アクションプログラム2023によれば、大津守山近江八幡線（4車線・無電柱化）の整備が進められ、近江八幡市内では中部湖東幹線として「野村町→牧町→白鳥川西岸」に向け建設予定です。この時、牧町周辺の道路整備についてお伺いします。

質問11-1. 牧町を横断する県道26号線の「バイパス道路」は必要と思われますか？
□ 必要 □ どちらと言えば必要 □ 不要

質問11-2. 牧町内の町道整備として、深い排水溝を埋める拡幅工事は必要ですか？
□ 必要 □ どちらと言えば必要 □ 不要

アンケート記入に対し貴重なお時間を頂き、ご協力ありがとうございました。

※ 参考）建設促進協議会に対しご意見等がありましたら記述ください。

□

➤ アンケート回答結果

- ✓ **回答率：78.2%**（回答者412名／対象者527名）
- ✓ 県道26号線の「バイパス道路」が必要 → 88%
- ✓ 牧町周辺（町内を含め）道路環境に満足 → 約13%
- ✓ 不満点 「道幅狭い」「安全策の不備」「湖岸道路からの抜け道」

アンケートから読み取れた牧町民の思い

- ❖ 町内を横断する県道26号線のバイパス道路 ➔ 必要不可欠！
- ❖ 町内道路の安全整備 ➔ 道路脇排水路の埋設による道路拡幅

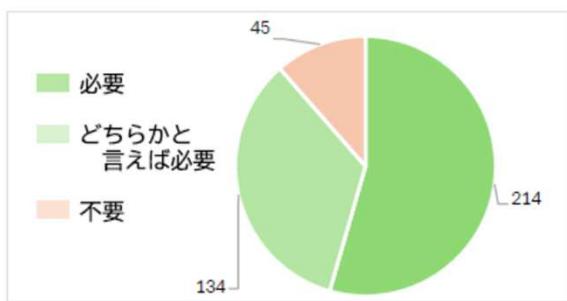
【 アンケート結果を受けた取組みの方向性 】

➤ 主な回答結果

□ 26号線のバイパス道路

質問10. 牧町を通る県道26号線の
バイパス道路は必要ですか？

必要	どちらかと言えば必要	不要	合計
214	134	45	393
54.5%	34.1%	11.5%	100.0%



□ 牧町をとりまく道路事情の不満点

質問6.あなたは牧町をとりまく道路事情に満足？

はい	いいえ	合計
53	358	411
12.9%	87.1%	100.0%

● いいえと答えた方の移動手段	徒歩	自転車	車
町内の移動	142	65	128
町外へ移動	6	20	305

● 質問7-a. 県道26号線

歩行者の安全性	47	13.4%
交通量	14	4.0%
道幅が狭い	177	50.6%
歩道が無い	4	1.1%
大型車両の通行	25	7.1%
対面通行できない	17	4.9%
車両速度早い	17	4.9%
車両の振動	2	0.6%
その他	47	13.4%
合計	350	100.0%

● 質問7-b. 市・町道

道幅が狭い	221	63.3%
深い排水路	41	11.7%
電柱が多い	3	0.9%
迂回車両が多い	26	7.4%
路上駐車がある	7	2.0%
県道の横断	11	3.2%
その他	40	11.5%
合計	349	100.0%

● 質問7-c. 県・市・町道全般

道路の騒音	10	3.0%
道路の安全策	204	62.0%
湖岸の抜け道	87	26.4%
その他	28	8.5%
合計	329	100.0%

※ 回答を頂いた方の 87.1% の方が牧町周辺の道路事情に対し不満を持たれ、道路幅が狭く、安全策が十分でないと感じられているようです。

➤ アンケート実施後の取り組み (協議会で確認し決定した事項)

❖ 求められる要件

中部湖東幹線道路の建設ルートは町民の総意として出された
『県道26号線のバイパス道路としての機能』の実現を目指す

❖ 取組みの方向性

(4/19 協議会にてアンケート結果と方向性を説明し了承)

中部湖東幹線 建設予定ルートの再検証 (交通量、バイパス効果)



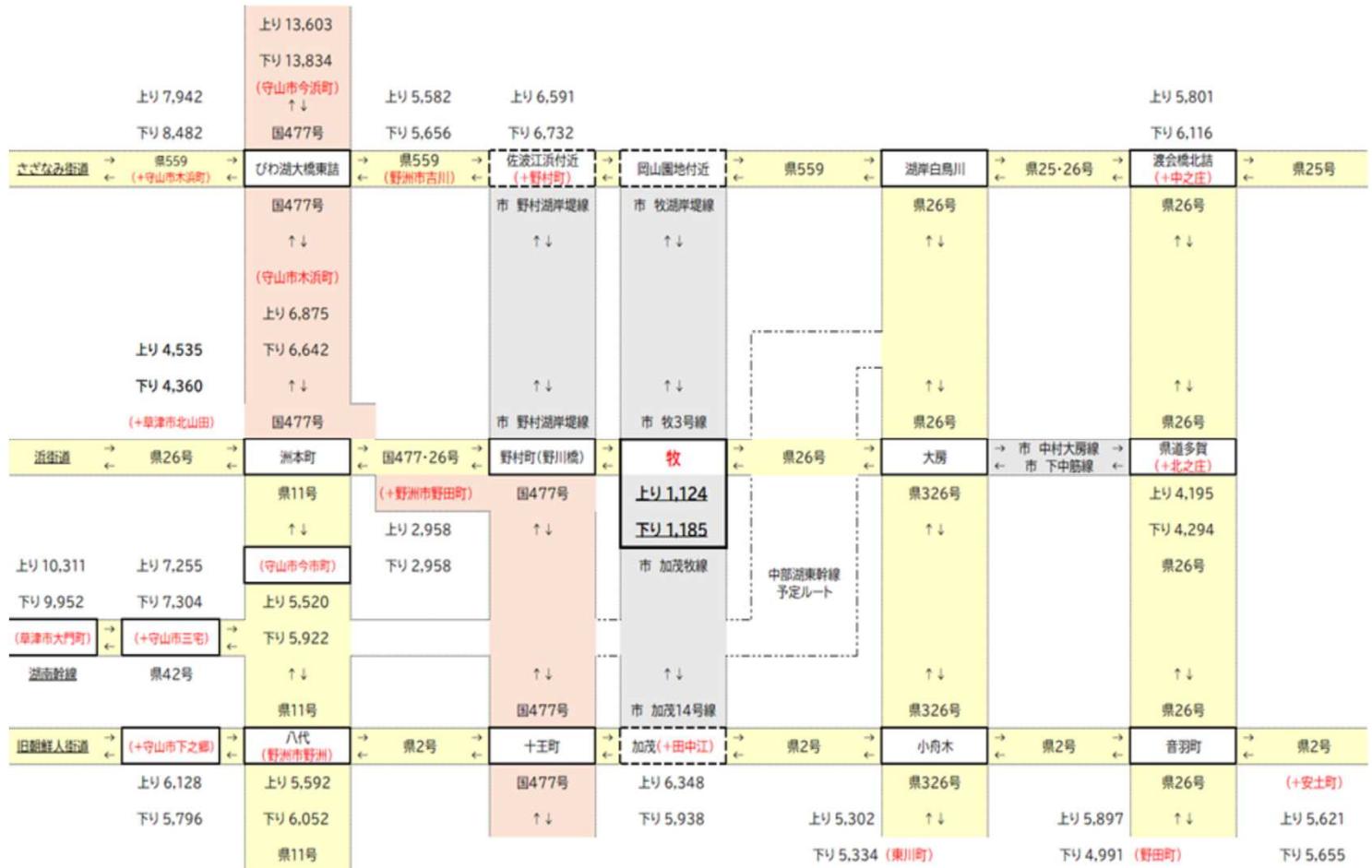
県道26号線『バイパス道路としての機能』の有無を検証

[バイパス機能 有り] → 牧町の南側を通るルートの推進
幹線道路通過に伴う、通学路の確保、農耕車の通過等、
生活者だからこそ判る問題点の洗い出しと改善策の提言

[バイパス機能 無し] → 代替コース（牧町案）の検討
幹線道路の通過を地域の活性化につなげ、
安心・安全な生活環境が実現可能なルート案を要望

【 現状の道路状況の確認 交通量 】

- 直近の全国道路・街路交通情勢調査から周辺交通量の確認
 ※ 令和3年度 道路・街路交通情勢調査 昼間12時間自動車交通量



- ✓ 県道559号（湖岸道路）、県道26号（浜街道）、県道2号線
 - ・びわ湖大橋取付道路を境に 上下線合計 2万台の差
- ✓ 湖南幹線：守山市三宅付近 上下線合計 約16千台
- ✓ 牧町周辺の主要道路合計 上下線合計 約3万台
 - ・県道2号線 田中江 上下線合計 12286台
 - ・県道26号線 野洲市野田 上下線合計 5916台
 - ・県道559号（湖岸道路） 佐波江浜付近 上下線合計 13323台

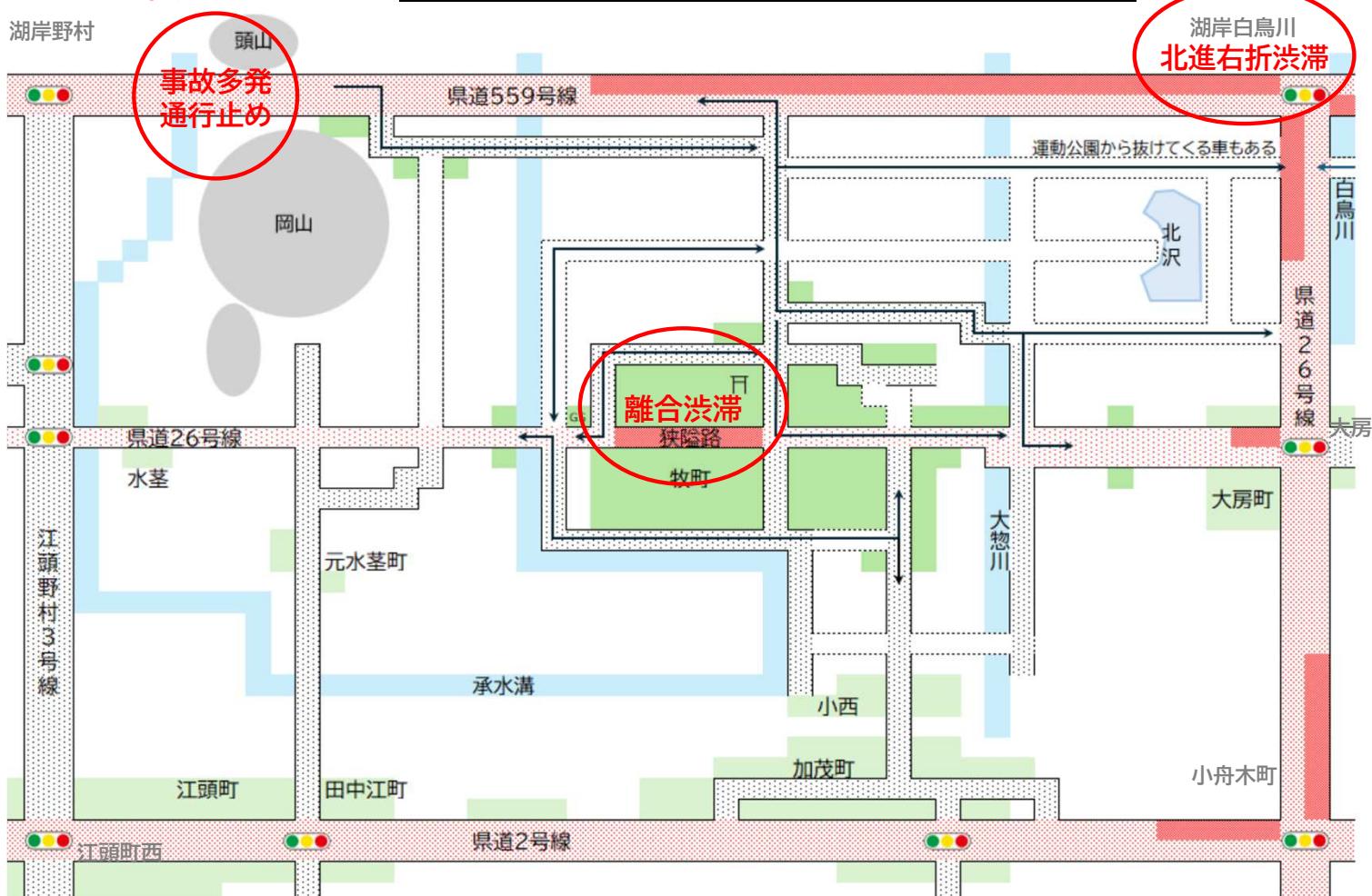
- ❖ 牧町周辺主要3路線 南北で約3万台の交通量
 - ❖ 中部湖東幹線が開通する事で、牧町より南は主要4路線

牧町より北は主要2路線に減線

【 現状の道路状況の確認 渋滞状況 】

➤ 牧町周辺の渋滞力所と抜け道利用道路

※ 通勤時間帯や湖岸道路の事故渋滞回避の抜け道として牧町内の狭隘路や農道が
利用される → アンケート結果でも不満度合いが高いことが伺える



質問9. 牧町から(出る・入る)際、県道26号線の渋滞に影響を受けたことがありますか？

はい	いいえ	合計
220	175	395
55.7%	44.3%	100.0%

→ 26号の北	26号隣接	26号の南	
218人中→ はいと回答→ 居住地域別→	94 42.7% 51.1%	61 27.7% 70.9%	63 28.6% 47.4%

● 質問9-1.影響(遅延)の程度は？

30分以内	30~60分	60分以上	不明	合計	はい	いいえ	合計
104	65	14	35	218	147	71	218
47.7%	29.8%	6.4%	16.1%	100.0%	67.4%	32.6%	100.0%

● 質問9-2.抜け道への回避は？

年齢・男女別	69歳以下	70歳以上	合計
男	71	43	114
	32.3%	19.5%	51.8%
女	76	30	106
	34.5%	13.6%	48.2%
合計	147	73	220

スムーズ	混んでた	その他	合計
57	65	20	142
40.1%	45.8%	14.1%	100.0%

【「南ルート」バイパスとして機能する?】

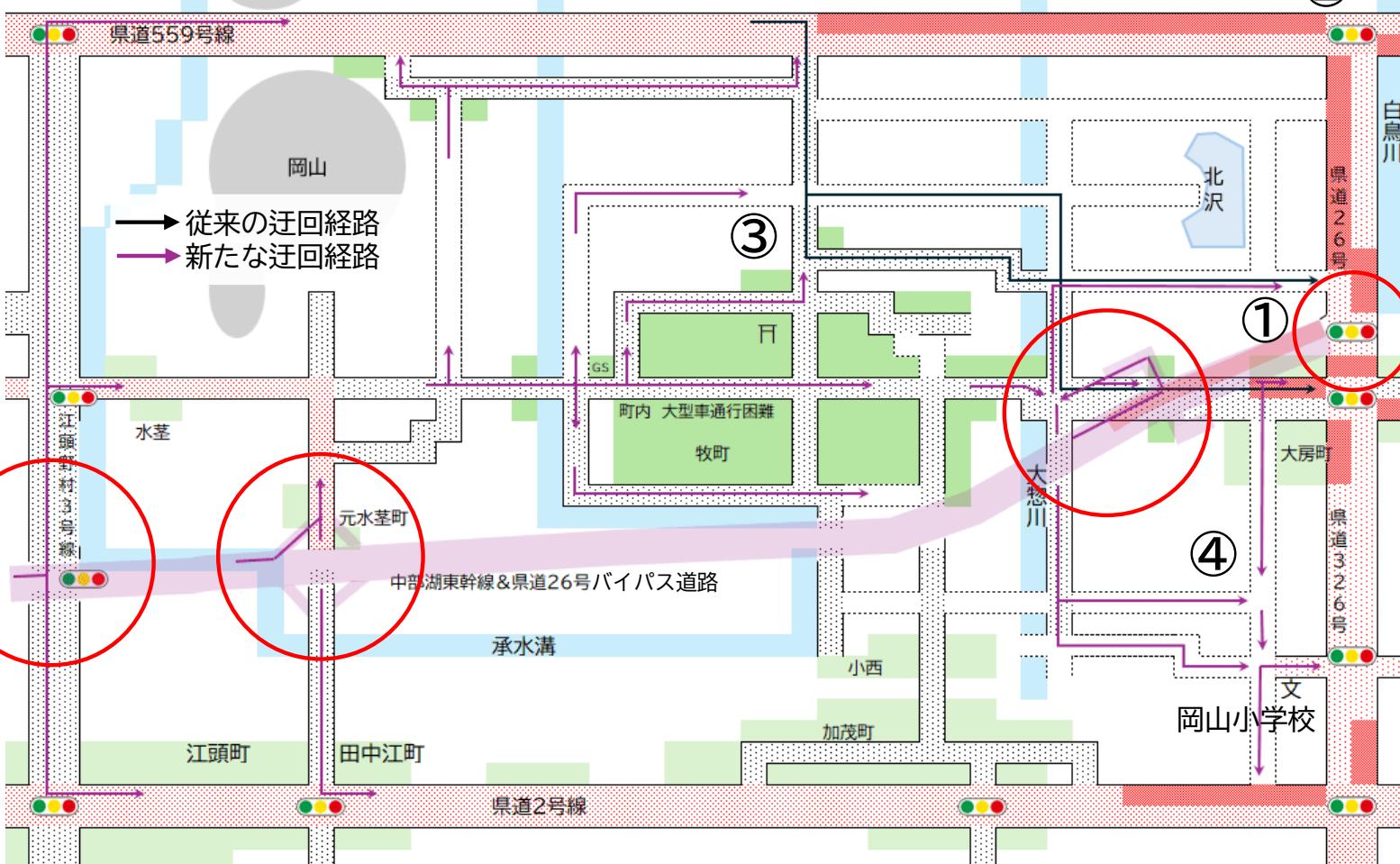
道路整備アクションプログラム2023の計画ルートに対する確認・検証

➤ 牧町の南側を通過し大房町の北側で県道26号線と合流

頭山

○印：中部湖東幹線と従来道との接合部分(車の流出入が発生する箇所)

②



予測可能な渋滞力所

- ① 中部湖東幹線が合流する大房町北側交差点
- ② 県道559号線湖岸白鳥川交差点の渋滞は継続

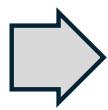


通勤時間帯の渋滞
容易に予測できる

- ✓ 大房の北側のT字交差点 湖南幹線の建設途中で発生した草津市野村や、駒井沢、守山市播磨田の交差点と同様 大渋滞を起こす可能性
- ✓ 大房町付近で渋滞が発生すると、岡山小学校の通学路が迂回ルートになるため通学路における迂回行動による危険な状態を予見

渋滞が発生するとドライバーは迂回路を探す

- ③ 湖岸白鳥川の渋滞 → 従来利用が継続
- ④ 大房町～岡山小学校付近に向け迂回が発生



町内だけでなく
通学路が迂回路に！

南ルート：県道26号線のバイパス道路として機能が無い！
(牧町・大房町 町民の安心・安全へ寄与できない道環境となる)

【 牧町として提案可能な代替ルート 】

牧町周辺において代替ルートが見いだせるかを検討

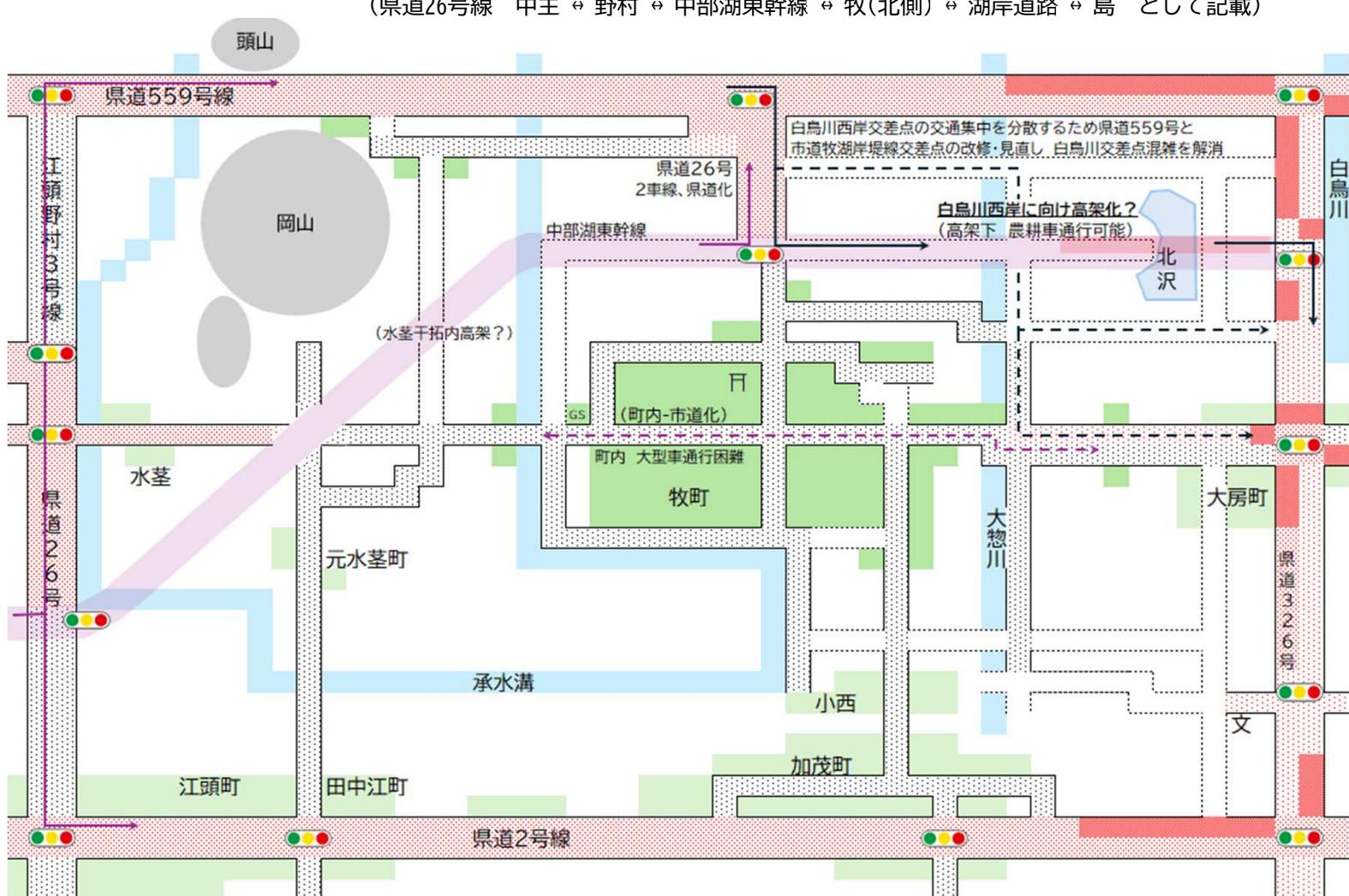
- 牧町内を横断する県道26号線のバイパスとして機能する道路
町内の道路 安心・安全が担保できる『生活道路』化への 期待
- 岡山園地利活用や牧町周辺地域の将来に向けた発展の可能性
湖岸道路と中部湖東幹線が最接近する利便性に加え、風光明媚な自然や歴史・文化を持つ地域特性を最大限に活用した地域づくりへの 期待
- 中部湖東幹線の白鳥川以北への延伸を考慮
滋賀県道路整備アクションプログラムにおいて未定の白鳥川以北への延伸に向けた将来性への 期待

中部湖東幹線建設促進協議会として 県に要望できる代替ルート

中部湖東幹線 → 牧町の北側を通るルートを提案

- 牧町の北側（居住地域の約140m北側）を通過する道路
大惣川付近から高架橋化し白鳥川堤防へ接続（農耕車の通行へ配慮）
- 市道牧-湖岸堤線の中部湖東幹線より北側を2（4）車線化
湖岸道路との交差点を緑地部へ拡大
(北向き右折車両待機車線の確保) ➔ 湖岸白鳥川交差点の北向き右折車を分散
- 県道26号線の経路変更（牧町を横断する道路を生活道路化）
幹線道路（湖岸道路、中部湖東幹線）を牧町の北側に集約 ➔ バイパス道路を不要に
県道26号線変更 例1) 中主 ⇄ 野村 ⇄ 中部湖東幹線 ⇄ 牧(北側) ⇄ 湖岸道路 ⇄ 島
例2) 中主 ⇄ 野村 ⇄ 湖岸道路（県道559号） ⇄ 島

【中部湖東幹線代替ルート（案）】



【 町民の意向を確認 ルート選択 】

野村工区での道路建設が始まる事から、牧町周辺ルートに対する町民の意向を滋賀県に伝え、一日でも早く中部湖東幹線の着工・開通に向けた取り組みを進めていただく必要がある。

- 目的 : 牧町としての幹線道路の建設ルートに関する意向を確認
- 対象 : 牧町自治会の正会員（牧町に居住する正会員 204名）
- 期間 : 令和7年8月24日～9月14日（組委員による調査書の配布＆回収）
- その他 : 正会員の2/3以上の回答が無い場合は 「不成立」

住民の意向を確認

- (1) 南ルート (2) 北ルート (3) 建設反対

従来道に影響が少ない全面高架橋
建設促進協議会提案のルート案

中部湖東幹線 「牧町周辺のルート選択」 について

幹線道路建設の前提) 牧町を通る県道26号線は、野村町～牧町の区間が1車線で大型車の対向に支障があるため、中部湖東幹線又は湖岸道路を県道26号線へと変更申請を行う。必要であれば大型車離合困難指定区間を公安委員会へ申請。(車載ナビ等における抜け道案内対応) ↓

ルート案1) 南ルート(案) ↪

近江八幡市の都市計画課より出されている都市計画図面(R7/4月時点)で記載されているルートで主要幹線道路(湖周道路と中部湖東幹線)の間に牧町民の生活空間が存在。↓

※ 中部湖東幹線において渋滞が発生すると牧町内だけでなく大房町や、岡山小学校の通学路が迂回路となる可能性が高いため、大房北側まで高架道路として建設する必要がある。 ↪

※ 湖周道路において渋滞が発生した際は、従来どおり牧町内の生活道路は迂回路となる。 ↪



ルート案2) 北ルート(案) ↪

牧町の北側を通り、白鳥川西岸へ接続するルートで主要幹線道路が近接するも、幹線道路間に住宅部が無く、牧町内への幹線道路の渋滞影響が少ないと推察。また、湖岸の岡山園地の利活用を含め、将来的な地域の発展が見込める。↓

※ 白鳥川湖岸交差点の渋滞緩和に向け、市道牧湖岸堤線の北側を2~4車線化し湖岸道路の渋滞緩和を実現する。(右図「○」部) ↓



ルート案3) 建設反対 ↪

南ルート及び北ルートについて、渋滞緩和や将来に向けた地域開発など、牧町民のメリットを見出すことができないため、牧町周辺を通る中部湖東幹線の建設に反対する。 ↪

以下の部分を切り取り、9月14日までに各組の建設協議会委員さん・班長さんに提出頂くか、牧町公民館玄関左側の黒ポストへ投函願います。 ↪

切り取り線

中部湖東幹線 牧町周辺のルート選択 ↪

↪

組・班 氏名 :

○ ↪

わたしは中部湖東幹線道路ルートについて、()に賛同します。 ↪

ルート案となる「南ルート」「北ルート」「建設反対」のいずれかを記載してください。 ↪

【 町民の意向確認結果 】

「牧町周辺のルート選択」による意向確認の結果

- 回収率 : 配布数=204戸、回収戸数=159戸（回収率77.9%）
※ 配布数：牧町自治会員の中で牧町に在住されている戸数
- 回答結果 : ◆ 南ルート = 52戸
 - ✓ 32.7% が「南ルート」に賛成
➡ 「県が決めたルートだから」という意見を散見
 - ◆ 北ルート = 105戸
 - ✓ 66.0% が「北ルート」に賛成
 - ◆ 建設反対 = 2戸 (無効3戸)

【 町民の意向確認結果を受け 】

- ❖ 滋賀県に対し、牧町 町民の意向確認の結果として
中部湖東幹線建設促進協議会が提案した「北ルート」に賛同する牧
町民が66%を占めた」（牧町民の北ルート 総意は66%）という結果を
尊重していただき建設ルートの見直しを頂き、早期着工を実施して
いただきたい旨 要望する。
 - ✓ 9月27日（土） 中部湖東幹線建設促進協議会にて決定
 - ✓ 9月30日（火） 牧町自治会 協議委員会において承諾・決定

【 ルート変更に向けた対応 】

- ❖ 岡山コミセンを通じ連合自治会（大房町・元水茎町）へ経緯・報告

 - ✓ 10月4日（土） 岡山コミセンにて説明会を実施
 - ↳ 10月10日（金） 近江八幡市 都市整備部との打合せを実施
- ❖ 滋賀県（東近江土木事務所）へ 牧町周辺のルート変更要望を実施
※ 牧町自治会だけでなく、岡山学区として

学区民の安心・安全、将来へ期待できるルートとして変更要望を実施

【 中部湖東幹線建設 牧町の総意として 】

❖ 町民へ意向を確認した北側ルートへの変更を要望

- ✓ 野村町(最終処分場の北側)から牧町の北側約140mを通過
- ✓ 中部湖東幹線の北側 市道牧湖岸堤線を拡張 (2~4車線)
- ✓ 湖岸道路「野田水門手前」～「市道牧湖岸堤線」を車線拡張
→ 湖岸堤白鳥川交差点と合わせ、北進右折車両を分散・吸収

❖ 牧町周辺 北側ルート（案）

県道559線 野田水門手前より北進右折車両向け車線の拡幅・拡張



【幹線道路建設に向け（1）】

中部湖東幹線の建設ルートに関わらず、牧町民の「安全・安心の確保」に向け、以下について要望を実施中

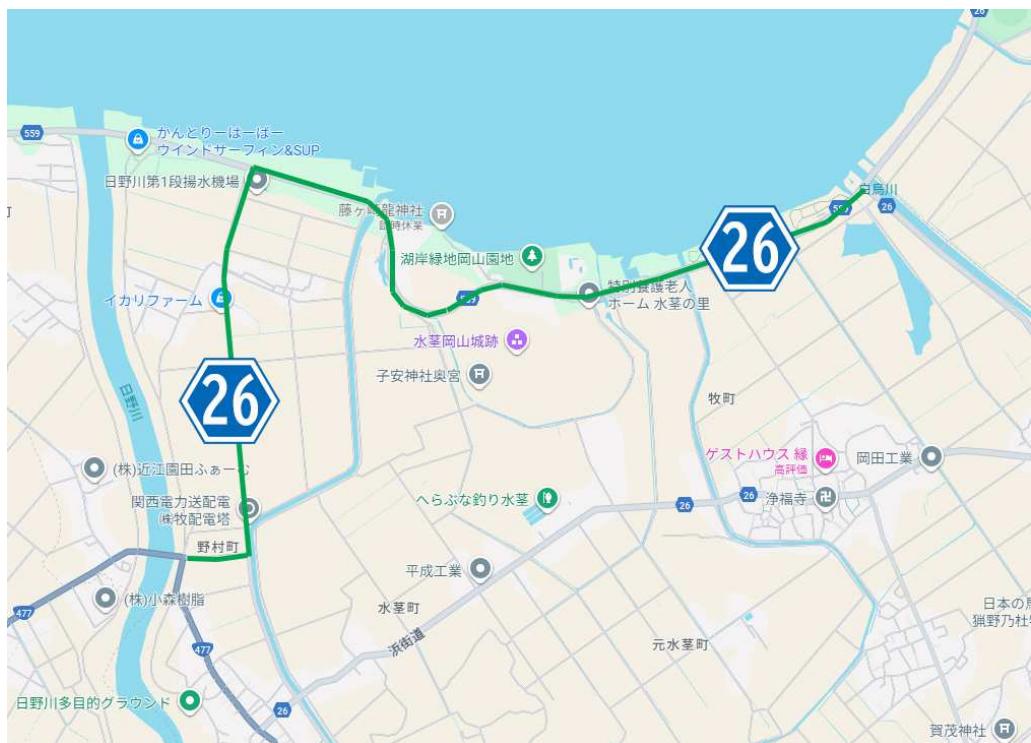
□ 牧町を横断する県道26号線の経路変更と告知標識設置

- ✓ 牧町を東西に横断する県道については野村町の「野川橋」～牧町の湯之尻橋までの間はセンターラインのない一車線道路
牧町内 普通車の離合が困難な「狭隘路」 → 早期の県道経路変更
- ✓ 野村町～大房町間 → 「大型車通行困難」の道路標識の設置
(公安委員会指定標識)

□ 県道26号線の経路変更

※ カーナビ等のルート案内に早期反映できるよう、県道559号線（湖岸道路）での経路変更を要望

県道26号線経路：野村橋 → 北里幹線排水路T字交差点
→ 湖岸野村交差点 → 湖岸白鳥川交差点



□ 中部湖東幹線の野村工区完成後、現在の県道26号線を中部湖東幹線からの流入先として機能させない

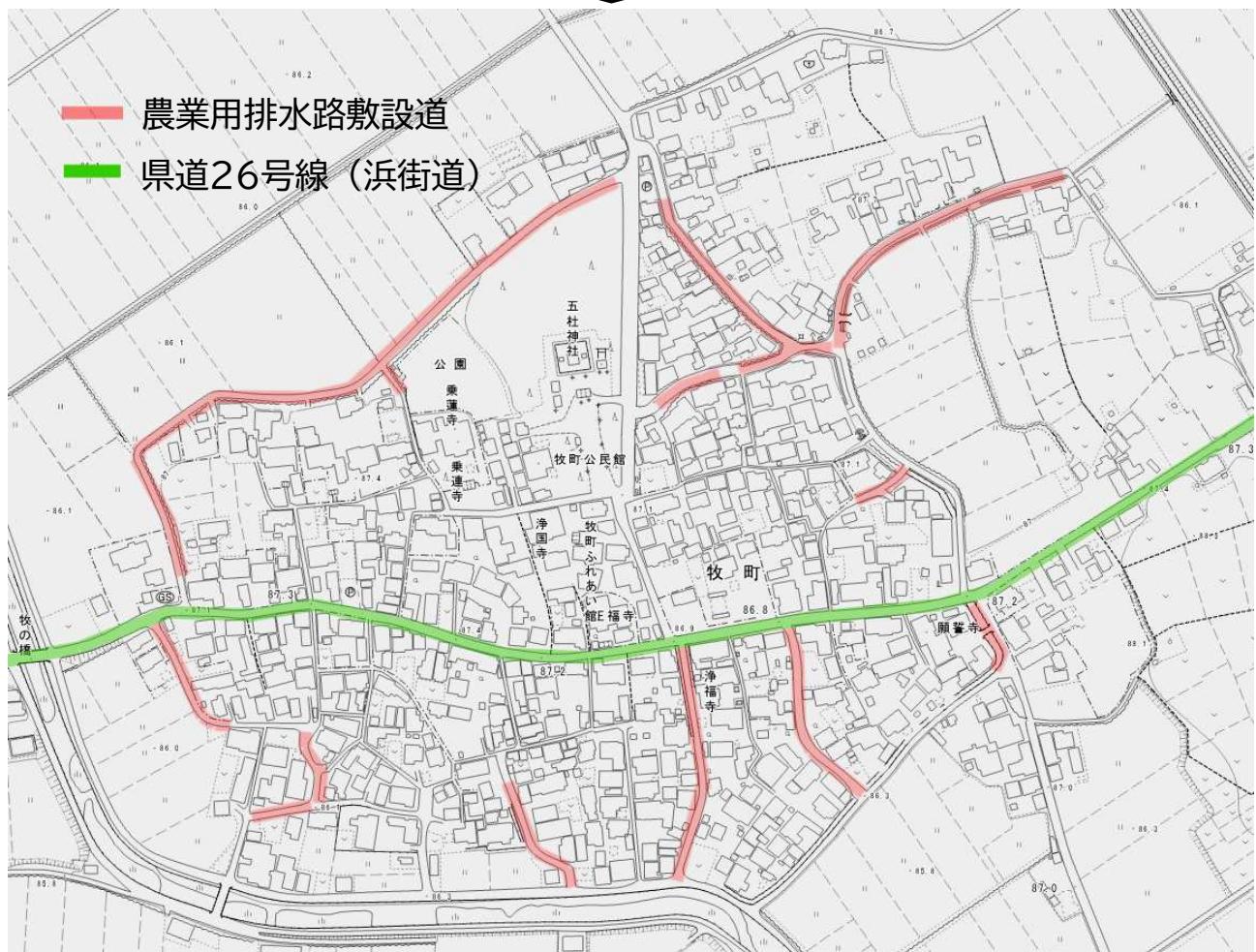
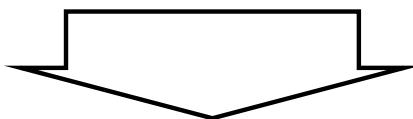
【幹線道路建設に向け（2）】

幹線道路建設に関するアンケート調査において町民から問題視された「道路幅の拡幅」や「道路の安全策」への対応について

□ 牧町内の県道へ通じる「道」→昭和48年の圃場整備事業由来

- ✓ 地域農業における主な物資の輸送手段であった和船運航のため、町内を網羅していた水路を埋め立て道路に改修
- ✓ 道路脇に農業用排水路が整備され、幅が広く深い

※ 道路利用者が転倒・転落 → 怪我だけでなく死亡事故も発生



道路脇の排水路を全面蓋つき排水路へ改修、重ねて要望